

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 15

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hrcr@at.wakwak.com



会長 浅野 光 男
会長ノミニー 岩崎 史 郎
副会長 鈴木 勝 俊
幹事 小川 高 弘
会報委員長 大石 忠 克

Reach within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

第1829例会 平成23年11月7日(月曜日) 第15号

本日の例会

11月7日(月) 第1例会

- ◎ソング 「君が代」「町に灯を」
◎卓話 「アンチエイジングとゴルフエクササイズ」
ゲストスピーカー アドバンス開発㈱
代表取締役 大東 将啓様(枚方RC)
(担当:宮崎康治会員)

◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

11月14日(月) 第2例会

- ◎卓話 「労働経済論・社会政策について」
ゲストスピーカー 大阪市立大学大学院経済学研究科
教授 福原宏幸様
(担当:百済洋一会員)

◎本日の献立 おまかせ定食

前回の例会記録

10月31日(月) 第4例会

◎ビジター 大阪RC 日比野 健氏 他1名

会長挨拶

会長 浅野光男

10月26日(月)当都ホテルにて第1回IM4組会長幹事会が開催されました。議題の中で(1)各クラブの活動進行状況について、(2)各クラブの震災への取組みについてとあり、その活動状況を各クラブより発表がありました。我々クラブとしての議題(1)についての発表内容

①会員増強について

各会員一丸となって候補者となりうる友人等を例会に引き食事をおかねて見学してもらい、活動内容を少しず

つ知って戴き入会に導く努力を行う。但し、むりやり会員増強のみに徹するのでは無く状況に応じてじっくりと取り組む。状況が発展しない場合は、現会員の人数に応じた活動内容を検討しつつニコニコ等会員の支援募金による会費補填に努力する。

(*他クラブの発表による会員増強プラン、①友人等を例会に招待する。②友人数人とロータリアンとの合同の食事会並びにゴルフ会等の実施。)

②クラブ細則見直しの検討について

RIによる基本細則内容を逸脱することなく、直近の我がクラブの活動進行に適していないと思われる細則内容を、情報集会並びに検討会等での修正案を理事会にて修正決定する。特に毎年の理事役員の選考人事についての指名委員会進行の日程は、早急なる検討が必要。

③クラブ研修委員会について(今年度の新設委員会)

委員長の指導により、毎月1回直近入会会員を対象に先輩会員2名程度と共にロータリークラブ勉強会を実施している。その他、別枠の食事を伴った勉強会の開催による顔合わせ及び和やかな会話により、会員相互の親睦、皆出席、退会防止に役立っている。

④地域社会奉仕について

東大阪市吉原公園にての第3回植樹祭を実施する。第1回は桜の樹3本と記念碑の設置、第2回は桜の樹30本(現在の樹は計29本)、第3回は桜苗木30本植樹計画を15~20本程度に削減。

⑤創立40周年記念行事について

平成24年2月20日(月)に開催する事が決定しているが、当初の計画内容を縮小して実施する。又、記念事

業テーマを「東北・東関東大震災復興支援」とする。開催に伴い姉妹クラブ提携先の台湾台中鹿港ロータリークラブに來会案内並びに多額の震災支援へのお礼のための訪問。

我クラブとしての議題(2)についての発表内容

①東北・東関東大震災発生に一早く姉妹クラブ提携先の台湾台中鹿港ロータリークラブより311万円もの支援金が我クラブに送られて來た事に我クラブでの支援金200万円を合わせ511万円を、世界飢餓対策機構と連携して仙台地方の各亘理町、石巻市、女川町、陸前高田市、南三陸に支援活動を展開する。8月24日、25日、26日、支援活動の経過視察に、世界飢餓対策機構ボランティア担当者案内のもと現地を訪問、現地の被災者の方々との面会、又、支援活動内容を確認。

以上の活動内容を発表致しました。又、本日回覧させて戴きますが地区より沢山の支援要請文書が続々と届いています。会員皆様方には更なるご支援ご協力をお願い致します。事となりますがご理解をお願い致します。

姉妹クラブ提携先の台湾台中鹿港ロータリークラブ訪問の報告

10月22日(土)、23日(日)、24日(月)の鹿港ロータリークラブ29周年記念行事に我クラブより15名で参加して参りました。滞在中の3日間は非常に良い天気恵まれ、日本の真夏を思い起こさせる暑い日差しが照り付けていました。新幹線台中駅に到着してすぐ鹿港ロータリークラブの会員並びに家族の方々が沢山お迎えに來て戴き、歓迎垂れ幕を張って記念撮影等々大変な歓迎に但々驚くばかりでした。記念式典では「君が代」を合唱して戴き参加会員全員の名前を読み上げ、一番前の席にと正に貴賓扱いの歓迎ぶりに参加会員一同非常に喜んでおりました。

我クラブの40周年記念行事には鹿港ロータリークラブより家族を含め40名もの参加があると聞いており、参加会員一同改めて絶大なる歓迎をしなくてはならないと話合いました。偏にご高齢にもかかわらず訪問団長を務めて戴きました瀧田会員並びに参加会員全ての方々のご協力に感謝致しますと共に、特に佐井会員の現地案内、通訳等々大変なご苦勞をして戴きました事に御礼を申し上げたいと存じます。

鹿港ロータリークラブよりお礼状が届きました。

東大阪中央ロータリークラブ

会長 浅野光男殿

10月23日は敝会創立29周年の式典を祝うにあたり、あなたのご厚意により、遠く日本から、14人の会員達を率いての祝賀と指導にご光臨いただき、敝会祝典に多くの興を添えていただきましたこと、お忙しい中、遠路はるばる皆様にお集まりいただき、更に、貴クラブ会員様方の大切な友情、これを私たちの「互いにロータリー

を支えあう」という精神でもって、また同時に我々鹿港ロータリークラブにとって貴会に学ぶところでもあります。貴会に引き続き愛護とご指導でもって、貴会と我が会両会の互いの友情をこのまま続けさせ、益々深まっていくことを願います。

特に貴会から贈呈いただきました礼金及び素晴らしい贈り物にも敝会全会員も深く心から感謝いたします。貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

鹿港ロータリークラブ 2011-2012 年度
会長 林慶源

2011.10.27

幹事報告

幹事 小川高弘

1. 地区大会当日の名札をポストに配布しています。11月11日(金)はシェラトン都ホテル大阪4階、12日(土)はNHK大阪ホール1階アトリウムへ名札をご持参の上、総合受付までお越しください。
2. 11月6日(日)、GSEスリランカチーム歓迎晩餐会には、浅野会長に出席していただきますのでよろしくお願ひいたします。
3. 大阪御堂筋RCより「スギ花粉を考える」講演会とシンポジウムのお知らせがきていますので、回覧いたします。
4. 今年度の理事・役員のロスター用シールと住所変更訂正シールをポストに入れております。理事・役員のシールはロスターの2ページ目に貼付をお願いいたします。
5. 11月第5回定例理事役員会は、第2週目、11月14日(月)に開催しますので、ご確認の程よろしくお願ひいたします。
6. 次週11月7日(月)は、例会場が3階、金剛の間に変更になりますのでご確認の程よろしくお願ひいたします。尚、例会当日GSEの受け入れがありますので、浅野会長・岩橋会員・私は例会欠席となりますのでよろしくお願ひいたします。
7. 11月17日(木)の第2回情報集会の場所が決まりました。銀座アスター、会費7,000円です。ご確認の程よろしくお願ひいたします。

出席報告

金子(勝)委員

本日の会員数	36名
本日の出席者数	27名
本日の出席規定適用免除会員	13名
本日の出席率	84.38%
10月17日の修正出席率	93.94%

SAAニコニコ箱報告

岡本SAA

- 浅野会長 台湾鹿港ロータリークラブの式典出席の会員の皆様おつかれ様でした。
- 小川幹事 鹿港ロータリークラブの手厚い歓迎にとても感動しました。
- 瀧田会員 台わん鹿港RCに行つて來ました。大歓迎で

した。その前日、10月21日、飛鳥CCでハーフ41とパット数12でまだいけるかな？

宮田会員 このたび、事務所を移転いたしました。電話・FAXはこれまで通りです。宜しく願いいたします。

佐藤会員 台湾鹿港RC訪問お疲れ様でした。皆様に変にお世話になり感謝(シェシェ)でした。

切石会員 研修会の件、藤原さんありがとうございます。

百済会員 台湾ではサイさん、お世話になりました。

松岡会員 鹿港RCの熱烈歓迎と瀧田団長、佐井会員には大変お世話になり何かとありがとうございました。皆様も無事の帰阪おつかれ様です。

大石会員 鹿港ロータリークラブ29周年記念の参加、佐井会員の細やかな心くばりにありがとうございました。大変良かったです。

佐井会員 今回台湾の旅、無事に終わりました。

岡本会員 鹿港RC記念式典に参加してきました。たいへん貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

クラブ研修委員会参加者 ありがとうございました。

委員会報告

鹿港RC29周年式典参加報告

瀧田浩彦会員

去る10月22日より24日まで3日間、台中の鹿港扶輪社の29周年式典に、我々東大阪中央RCの浅野会長以下、計15名が参加して29周年の祝意と東日本太平洋沖地震に際して逸早く311万円の義捐金を送って頂いた善意に謝意を表明する為に行って参りました。第1日目、関空から台北に渡り、全員で故宮博物館見学、2日目新幹線で台中到着。鹿港の会員の出迎えを受け、ゴルフ組は彰化ゴルフクラブへ、我々は台中市内を観光後、鹿港市内に着き、ガラス工芸館(会員ガラス工場経営)見学等の後、旧市街(鹿港老街)の松林先生(会員)の工房見学、親子2代彫刻・書道の大家で間口より奥行が拾数倍の(京都のしもたやの様)立派な石造りの住居兼工房で、優雅な沢山な作品の数々を見学、感動しました。会員に夫々“書”を頂いた後、公会堂のような式場に到着、浅野会長挨拶(同時通訳)の後、祝宴が延々と続き、大役を終える事が出来ました。翌日は、施龍淵創立会長、黄太郎元会長、会長、幹事等7人の方のお見送りを頂き台中を後にして、桃園国際空港より無事帰国致しました。尚、当方の40周年式典には多数の方が来て頂ける事を確認して帰りました。以上、ご報告いたします。

社会奉仕委員会

委員長 宮崎康治

地区より「タイ浸水募金」の要請が来ております。BOXを回覧いたしますので募金ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

第1回地区財団FVPセミナー報告

副会長 鈴木勝俊

10月22日(土)地区のロータリー財団FVPセミナー

が土佐堀のYMCA会館で行われました。浅野会長・三木当クラブ財団委員長ともに台湾の鹿港ロータリークラブへ訪問されていて不在でしたので、岩崎ノミニーとともに代理出席をしてきましたのでご報告させていただきます。

内容につきましては岡部ガバナーのご挨拶の後、地区財団役員の説明があり質疑応答もあり、約2時間の会議でした。RI全体(世界中)でFVP(フューチャー・ビジョン・プラン)と名づけ次年度より財団の補助金制度を大きく変えるということでございます。新地区補助金につきましては、まず従来は単年度で事業を行っていたものを2年サイクルとするということになります。またRIは地区活動資金(DDF)を現行20%から50%に増額し補助金の用途の範囲も広げると、従来は随時申請としていたが次年度からは一年に一度の申告とし地区の裁量権は大幅に増えるということになります。

従来地区における職業研修GSEは若干形を変えVTTとなり、このような大きな事業はグローバル補助金という制度を使うということになります。全部お伝えしますと一時間以上かかると思いますのでまたの機会にさせていただきますと思います。

結構ハードルは高いように思いますが、この新地区補助金を申請して何かやるのであれば次年度の会長・財団委員長・社会奉仕委員長・国際奉仕委員長さんに先ず計画を立てて頂き、再来年3月ぐらいにはクラブから地区へ申請していただき、その翌年(次次年度)を実行年度として行くこととなります。

岡部ガバナーは私の年度はこのために財団セミナーを例年より若干多く開催させていただくと語っておられましたし、明年1月14日に第2回目の財団FVPセミナーを開いていただくということも決まっていますので、又情報が入ってくるものと思われま。このあたり当クラブとしてもしっかり理解をしてゆかねばならないことと思われま。皆様のご確認の程宜しく願います。

卓話

『水』について

大石忠克

1. 挨拶

今日は、今日で4回目の卓話になります。今回は、水をテーマに、お話させていただきます。

普段、水の豊富な日本に住んでいる私たちにとって、水は、ありふれた存在で特別意識するモノではありません。ここ何十年と大阪に住んで、現実の、生活の場や、業務上の場において水が何日も無く、生活や仕事も出来ず大変困ったと言う経験をした記憶がありません。

ですから、普段、水が私達にとってどんなに貴重な存在であるとか、水に感謝するとか、水がどうして出来て、どれ位あるのか、成り立ちや、人間にとって、どのような役割をしているのかを考える機会が殆どありませんでしたが、今回のテーマにそって色々情報を集めて

みましたら、食料・水・衣服・住居の中でも特に水は命の存続に欠かせない最優先課題である事が良くわかりました。“そう言うことだったのか”と初めて知ったことも沢山ありました。

2. 水と地球

生きるのに、絶対的不可欠要素を幾つか挙げるとすれば、太陽、水、空気であると思います。人間は、空気が無くなれば約2、3分から5分、水も恐らく2～3週間飲めなければ生命が維持できませんし、太陽が無くなれば地球上の殆どの生命が維持できないであろうと思います。しかし不思議なことに、この重要な要素が3つとも、タダであります。“いや俺は水道代払ってるで”とおっしゃるかもわかりませんが、それは、水の取水、浄化、配水等の手数料であり技術料を払っているだけで、空から降ってくる水はタダだと思います。地球上の水は地球が誕生した46億年前より存在し、私達、人間より遥か大先輩です。

3. 地球の水量

(水と地球、水の惑星)

宇宙空間に浮かぶ地球は表面の約70%が水に覆われ、水の惑星と呼ばれています。地球上にある水の量は、全て合わせると14億キロ立方メートルの水があります。しかし、97%までが海水で、淡水はわずか3%にしか過ぎません。この3%の水も70%が南極の氷や雪として存在し、私達が生活に使用できる水は、川・湖・沼・地下水をあわせ地球上の水のわずか0.8%にすぎません。因みに、97%を占める海水を全部入れるプールを造ると縦、横2,000km、高さ337kmの想像もつかない大きさのプールになります。

4. 地球の水量の不思議

一年間の地球の雨・雪は陸地に111兆トン、海に385兆トンふり、合わせて496兆トンの水が新しくかわります。蒸発する水の量は陸上の地面や植物から71兆トン、海から425兆トンで合わせての水が空へかえっていきます。ちょうどプラスマイナスゼロなのです。はいってきた水の分だけでいくので地球全体にある水の量は変わらないのです。海だけの水の量をみると入ってくる量より蒸発する量が40兆トン多くなっています。陸だけ入ってくる量より蒸発する量が40兆トン少なくなっています。これは陸上にふった雨や雪が川から海にながれ込むためです。陸から海にそそがれることなく海水が蒸発しつづけると海は一年間に1mずつ浅くなり3,200年ほどして干し上がってしまいます。地球上の水は決められた温度によって固体(氷)、液体(水)、気体(水蒸気)の3つに姿を変えながら変幻自在に空・陸・海の間をいったりきたりしている不思議な存在であります。太古の時代からほとんどかわることなくただ循環を繰り返し降り注ぐ雨の量は、地域や時期が違うだけでほとんど毎年一定量を保っているのです。今私達の周辺にある水は20億年前に作

られた水が何回となくみごとみごとなバランスで循環しているだけなのです。したがって水を汚すということは私達自身に大きくはねかえってくることなのです。

5. 水と生命体

人間の体の65%は水でできています。血液90%、脳80%、網膜92%、体の活動を維持するために、人は絶えず水を摂取し、排泄し、循環させる必要があります。この循環がどこおき、水が足りなければ生命は維持できません。一般的に大人一人の体から毎日2、3リットルの水が排泄されているので、これに等しい分だけの水分の補給が必要となります。ちなみに1日に最低でも500ミリリットルのおしっこが出ないと、不要な物質が体内にたまり、生命にとって危険な状態になります。生命の最小単位は細胞であり、複雑な構造で組み合わせられていますが、諸々の要素を結びつけているのが水なのです。この水の働きで栄養素や代謝物の運搬、体温調節などが行われ生命の機能がたもたれています。人間を含め、生命体は一見固体のようにみえますがほとんどが、液体・水なのです。トマトの90%は水、りんごの85%、魚は75%、くらはげは96%が水です。

6. 植物と水

植物のほとんども水でできています。植物は海で誕生し、長い期間生活してきた植物は、それらの細胞ひとつひとつが水で満たされていて、高等植物の葉などは重量の約80%～90%を水がしめています。水が少しでもへってしまえば、植物は生命活動維持が困難となり、植物は萎れて枯れてしまいます。例えば、稲などは、水分の10%が失われただけでも枯れてしまうと言われています。それから考えると、私達は、毎日米や野菜、果物など形のあるものを食べていますが、実際には、そこに含まれている水を飲んでいる事と変わりません。良い米、野菜、果物と言うのは良い水をたっぷり含んだものになるのではないのかと思います。

7. 水の種類、性質

・水には(PH)があり、PHってなに

酸性・アルカリ性の度合いを示す数値のこと。0～14の数値で表されPH7が中性、7から小さくなると酸性が強くなり、7から大きくなるほどアルカリ性が強くなります。

・酸性水の特長(PH値7以下)

酸性とは植物を酸化させる力である。食器洗いや手洗いにてきしている(殺菌作用がある)。吸引・浸透が早い、豊潤作用がある(お茶・コーヒー・料理などにてきしている)。

・水道局水質基準

PH値は5.8以上8.6以内と定められています。

・水には硬度があり、

含まれるミネラル成分の配分によって、比較的少ない水を軟水、多い水を硬水と呼んでいます。

※以下の卓話原稿は紙面の都合で事務局に保管。